

一、門跡御ウヘ夕食有之、門跡留守事御姫御方振舞也云々、御ウヘ・興門門跡・御姫御方興門・御姫御方

予・常樂寺(常樂寺女中)・南向・名シホ殿・同孫兒、其外十余人ホト有之、

十八日、辛未、天晴、

母月忌

(77ウ) 一、陽春院殿御忌日之間、金光寺比丘尼齋ニ相伴了、  
(言經母葉室氏)

一、小川与七郎知人、子驗氣之由、猶藥所望、五服遣了、

一、西御方北向・倉口ヘツ、ラニツ、預置了、後刻罷向了、

一、建仁寺壺首座へ職原抄抄出返了、海老名市藏ニ可相屈申了、相心得之由也、

一、門跡御ウヘへ昨日礼ニ罷向了、桃實有之、食了、

一、世上騒動不斜、

大坂ニテ細川忠興室自害ス

一、大坂ニテ長岡越中守女房衆自害、同ムスコ(細川忠興)十二才、同イモト(玉、ガラシヤ、明智氏)六才、才母切殺サシ殺也云々、私

宅火ヲ懸了、小笠原(秀清)、荒川(秀清)、オカイシヤク、則腹ヲ切也云々、越中守ハ關東ニ有云々、

昨夜也云々、

(X廿) 十九日、庚申、天晴、

一、伏見城内府内衆鳥居彦右衛門尉以下四五人侍有之、其外人數多有之云々、大坂ヨリ猛勢ニ

テ被責之、城ヨリ出テ近所之益田右衛門尉(長盛)・德善院(前田玄以)已下家共放火了、晝夜鑊放打之、

慶長五年七月

一九一